

令和8年度 全国財務局長会議資料

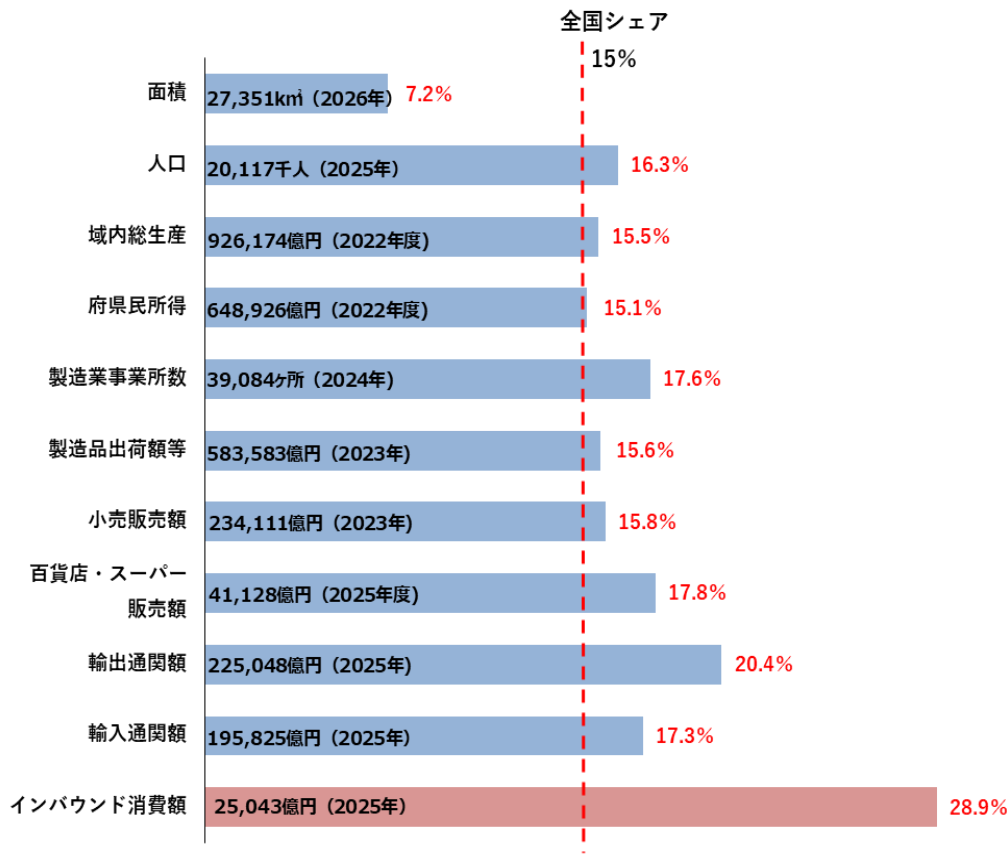
令和8年9月2日
近畿財務局



関西経済の特色①

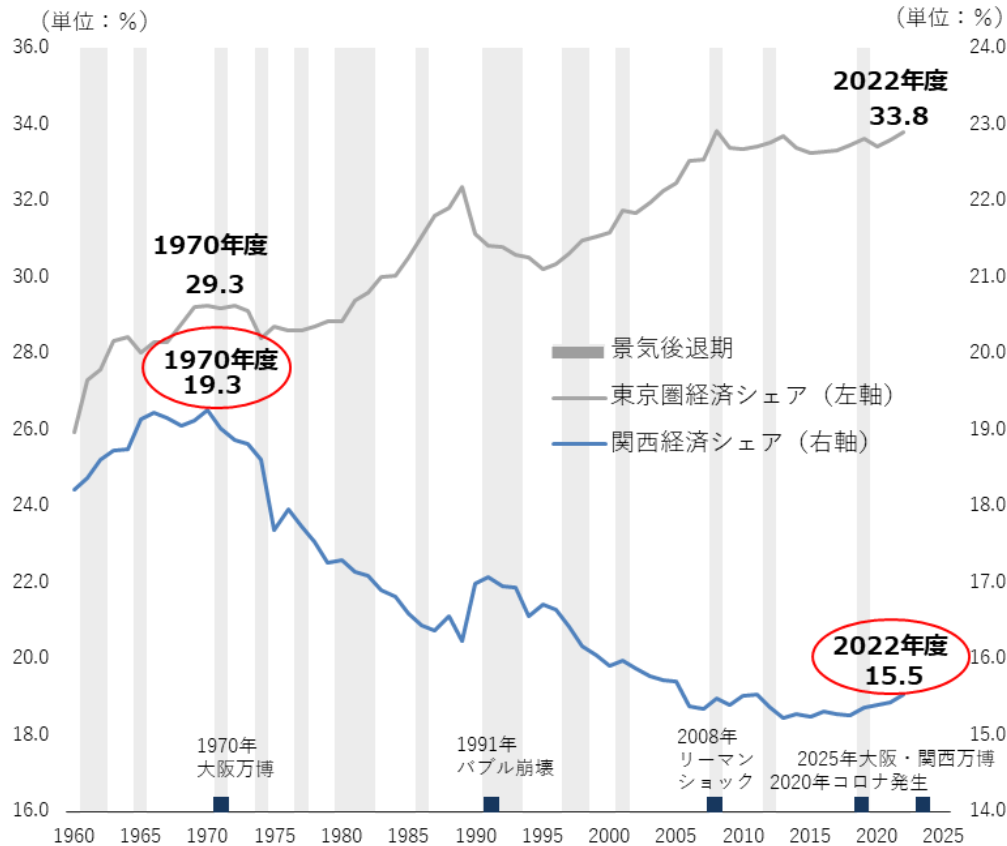
- 関西の経済規模は全国の15%超となっている。インバウンド消費額の全国シェアは28.9%を占めており、関西経済を下支えしている。
- 関西経済の全国シェアは、大阪万博が開催された1970年度にピークである19.3%に達したが、その後は2010年頃にかけて縮小。近年は、全国シェア15%程度から底打ち傾向となっている。

図表 1：関西地域の経済規模（全国ウエイト）



【出所】国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「国勢調査」、内閣府「県民経済計算」、総務省・経済産業省「2024年経済構造実態調査」、近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、大阪税関「貿易統計」、観光庁「インバウンド消費動向調査」
（注）インバウンド消費額の全国は、都道府県集計表の合計（除く都道府県間交通費）

図表 2：関西経済シェアの推移

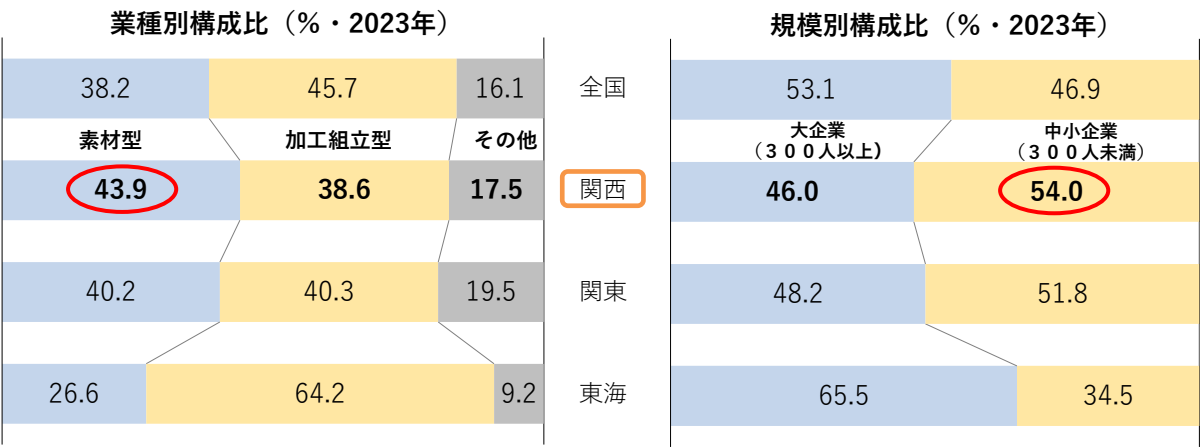


【出所】内閣府「県民経済計算」
（注）東京圏は、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県で集計

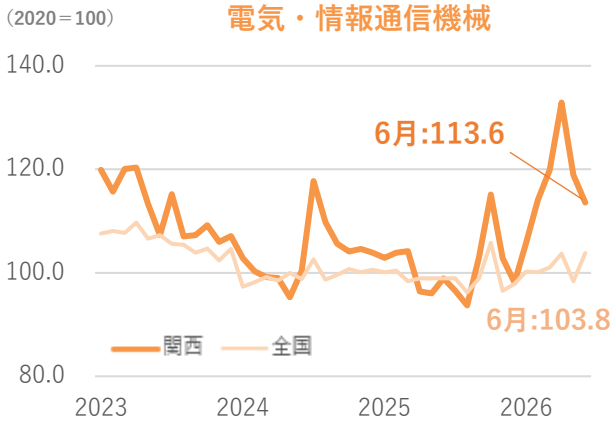
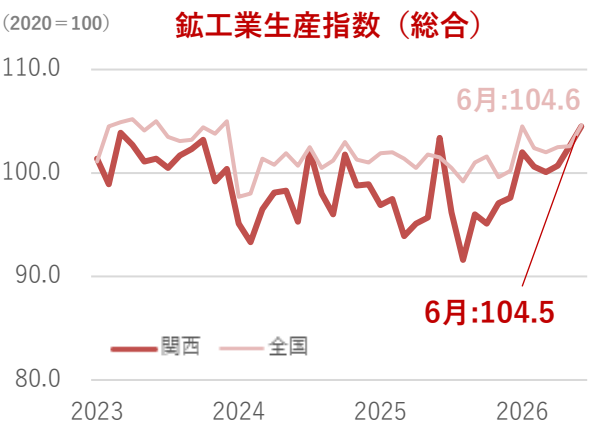
関西経済の特色②

- 製造品出荷額等で見ると、関西は素材型の割合が高く、特に化学や鉄鋼の割合が高い。また、中小企業の占める割合が高い。
- 鉱工業生産指数で見ると、これまでは全国を下回る水準で推移していたが、足下ではAI・データセンター関連の需要などを背景に電気・情報通信機械や化学が上昇しており、全体では全国の水準に近づいている。
- 輸出先をみると、他地域よりもアジア向け比率が高く、64%を占める。

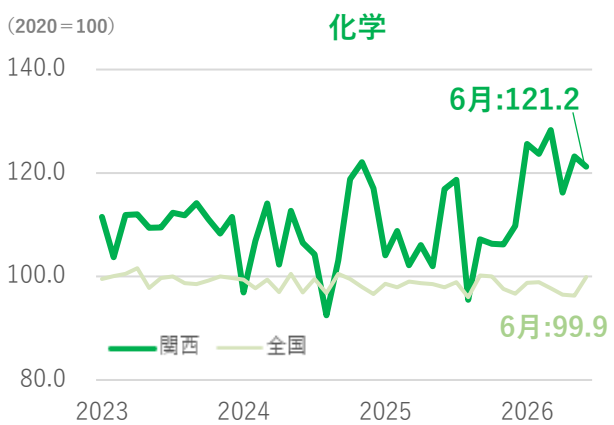
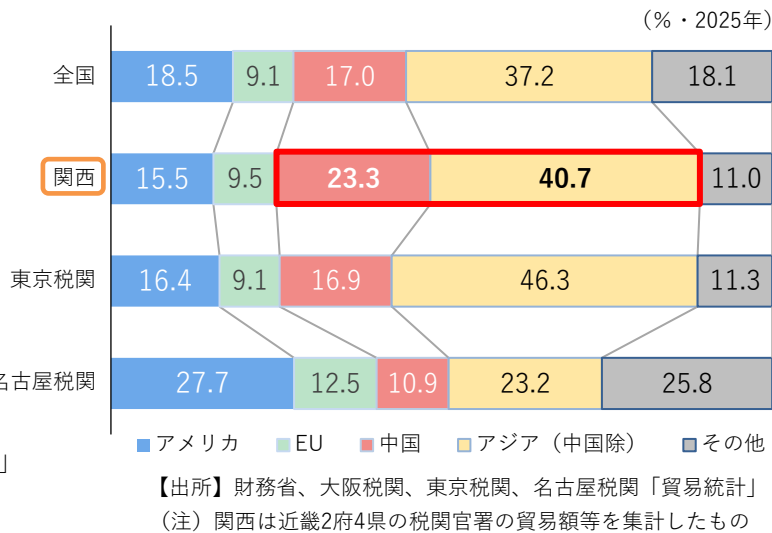
図表3：製造品出荷額等の構成比（全国、地域比較）



図表4：鉱工業生産指数（全国比較）



図表5：輸出国・地域別シェア（全国、地域比較）

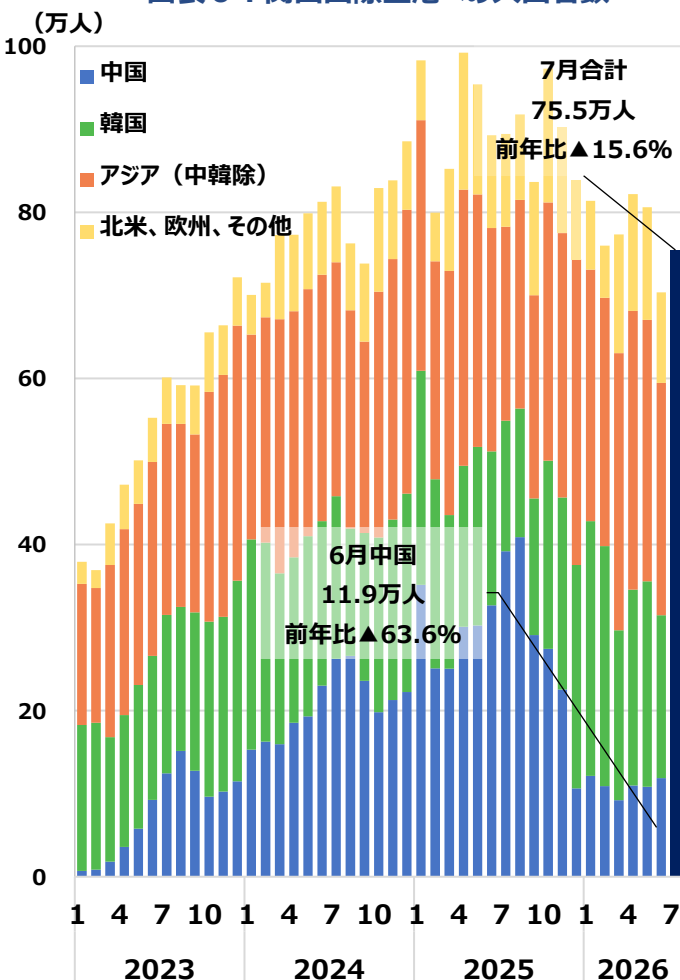


【出所】近畿経済産業局「鉱工業指数」

インバウンド及び個人消費の状況

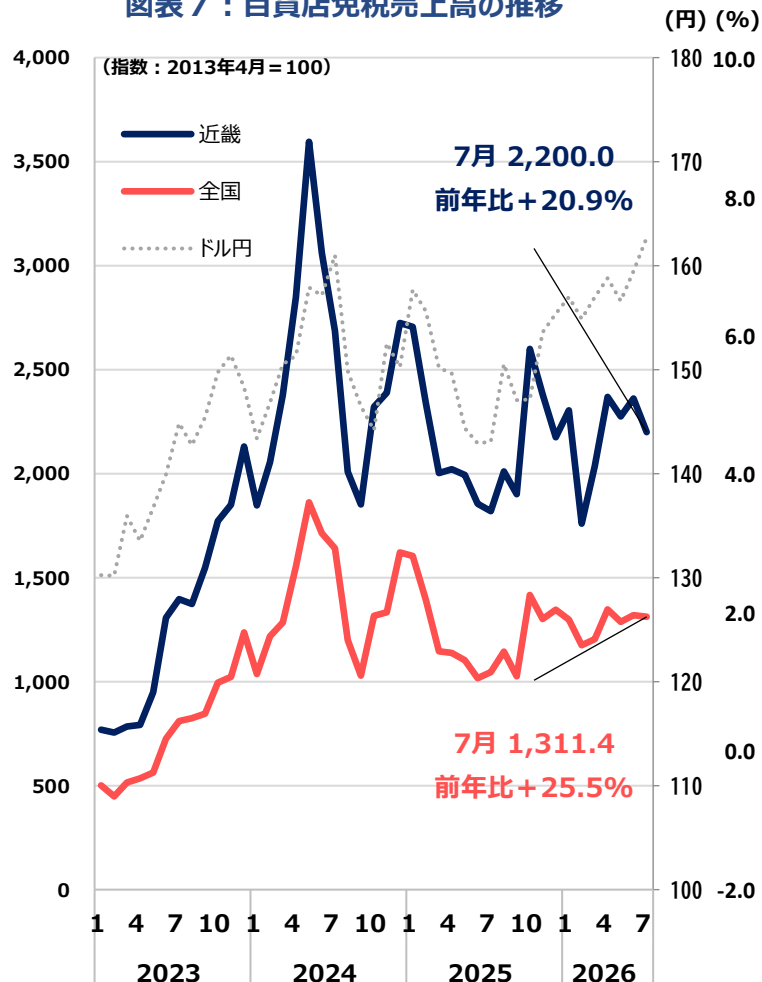
- 関西国際空港の入国外国人数は、中国人訪日客の減少がみられるものの、他地域からの訪日客が増加傾向にある。
- 関西の百貨店免税売上げは、他地域からの訪日客増加や富裕層需要の堅調さを背景に、足下では前年を上回っている。
- 小売業全体では、免税売上げが堅調なこともあり、2026年4～6月期は全国を上回る伸びとなっている。

図表6：関西国際空港への入国者数



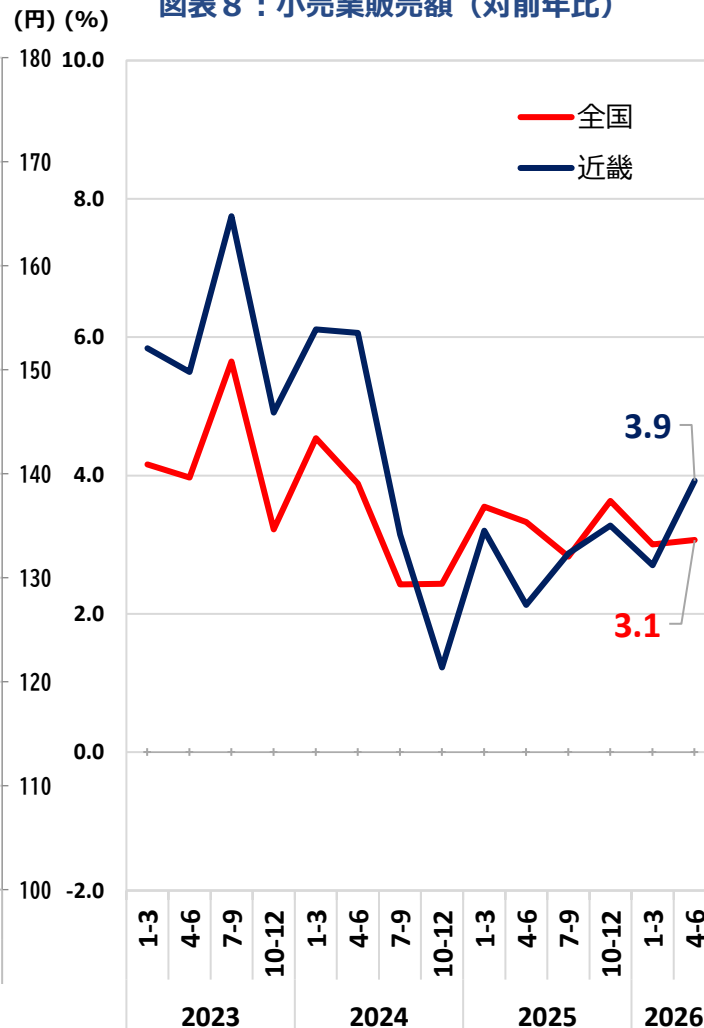
【出所】出入国在留管理庁「出入国管理統計」
（注）7月は速報値のため入国者総数を表示。

図表7：百貨店免税売上高の推移



【出所】日本銀行大阪支店「百貨店免税売上（関西地域）」、
日本百貨店協会「百貨店売上高」

図表8：小売業販売額（対前年比）



【出所】経済産業省「商業動態統計」
（注）小売業販売額とは、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター販売額の合計を指す。